保健管理概要

第 40 号　2024 年

Akita University

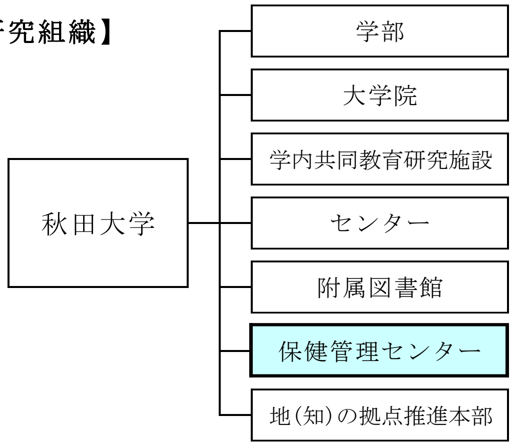
秋田大学保健管理センター

目　　　次

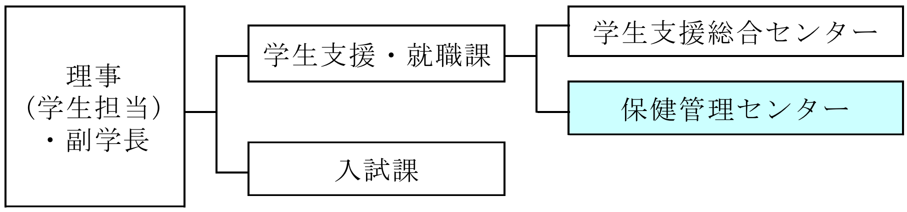
Ⅰ　令和6年度　保健管理体制

1. 組織図

【教育研究組織】



【事務組織】



2. 沿　革

昭和 49 年 4 月　1　日	保健管理センター設置準備委員会発足
昭和 49 年 4 月 11 日	国立学校設置法施行規則の一部改正により保健管理センター設置、学長　渡辺武男が所長事務取扱に発令された
昭和 49 年 5 月　8 日	保健管理センター規程及び保健管理委員会規程が制定された
昭和 49 年 8 月　1 日	初代保健管理センター所長に医学部教授　増田久之(第一内科)が併任された
昭和 54 年　3 月 30 日	新保健管理センターが竣工した(計算センター(現　情報統括センター)と合築)
平成　元年　1 月 26 日	現在地への移転工事が竣工した
平成 16 年　4 月　1　日	法人化に伴い、秋田大学保健管理センター規程が制定された
平成 23 年　9 月 12 日	保健管理センター増築工事が竣工した

3. 職　員

所　長（併）　教　　　授　伏　見　雅　人
准　教　授　佐　野　正　明
看　護　師　藤　原　友紀子
看　護　師　安　保　智　秋
看　護　師　荻　原　佐智代（非常勤）

4. 学 校 医

産 科 婦 人 科　助　教　藤　嶋　明　子
精　神　科　准教授　竹　島　正　浩（精神科学講座）
精　神　科　助　教　伊　藤　結　生
皮　膚　科　助　教　山　川　岳　洋
眼　科　医　員　西　山　俊　吾
耳 鼻 咽 喉 科　医　員　安　宅　賢二郎

5. 学外カウンセラー
（学生相談所専門相談員）

後　藤　優　子（非常勤）　中　野　薫（非常勤）
横　尾　裕紀子（非常勤）　進　藤　晴　美（非常勤）

6. 歴代職員

①所長（併）

氏　　名	所　　属	在　任　期　間	備　　考
渡　邊　武　男	学　　長	昭49. 4.11～昭49. 7.31	事務取扱
増　田　久　之	医　学　部	昭49. 8. 1～昭52. 3.15	
金　澤　知　博	医　学　部	昭52. 3.16～昭56. 3.15	
井　上　修　一	保健管理センター	昭56. 3.16～平10. 3.31	
苗　村　育　郎	保健管理センター	平10. 4. 1～平28. 3.31	
伏　見　雅　人	保健管理センター	平28. 4. 1～	

②保健管理医

氏　　名	診療科	職　名	在　任　期　間	備　　考
荒　川　弘　道	内　科	講　師	昭49. 8. 1～昭53. 9.30	
井　上　修　一	内　科	教　授	昭53.10. 1～平10. 3.31	
久　場　政　博	精神科	講　師	昭53.10. 1～昭57. 3.31	
稲　村　茂	精神科	助　手	昭57. 4. 1～昭59. 3.31	
大　川　匡　子	精神科	助　手	昭59. 4. 1～昭60. 4.30	
		講　師	昭60. 5. 1～平 2.12.31	
苗　村　育　郎	精神科	助　手	平 3. 1. 1～平 3. 2.15	
		講　師	平 3. 2.16～平 4. 3.31	
		助教授	平 4. 4. 1～平10. 3.31	
		教　授	平10. 4. 1～平28. 3.31	
小　林　政　雄	内　科	准教授	平10. 4. 1～平31. 3.31	
伏　見　雅　人	精神科	教　授	平28. 4. 1～	
佐　野　正　明	内　科	准教授	平31. 4. 1～	

Ⅱ　令和6年度　年間業務内容

月	業　務	内　容
4月	入学式（あきた芸術劇場ミルハス）	看護業務担当（医務室業務）
	教養教育科目 「大学生と健康A」授業開始	Web授業〔オンデマンド型〕 青年が直面している心とからだの健康状況を認識し、 将来の生活の支えとなることを目的として行う
	学生定期健康診断（卒業年次）	胸部X線撮影、 内科診察、血圧測定、尿検査 身体測定（身長、体重）、視力検査
	長時間労働者面接指導	疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
	衛生管理者学内巡視	
5月	学生定期健康診断（2～3年生）	胸部X線撮影 内科問診、血圧測定、尿検査、身体測定（身長、体重）
	学生定期健康診断（新入生・新編入生）	胸部X線撮影、問診票 内科診察、血圧測定、尿検査 身体測定（身長、体重）、視力検査、聴力検査
	長時間労働者面接指導	疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
	衛生管理者学内巡視	
	X線室漏洩線量測定	外部機関に依頼（千代田テクノル）
6月	学生定期健康診断（再検査）	
	職員一般定期健康診断（手形キャンパス） 放射線業務従事者特別健康診断（上期） 有機溶剤、特定化学物質取扱者健康診断（上期） 粉じん作業従事者健康診断	秋田県総合保健事業団へ委託
	全国大学保健管理協会総会 国立大学保健管理施設協議会総会	Web開催 Web開催
	長時間労働者面接指導	疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
	衛生管理者学内巡視	
7月	学生定期健康診断（再検査）	
	第61回全国大学保健管理研究集会東北地方 研究集会	ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING （当番校：岩手大学）
	手形キャンパス構内車椅子巡視	車椅子マップ作成・周知
	秋田大学オープンキャンパス	医務室業務
	長時間労働者面接指導	疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
	衛生管理者学内巡視	

月	業　務	内　容
8月	職員健康診断事後措置 X線装置定期点検 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	個別保健指導、医療機関へ紹介等 NEC、3Z、キャノン、フジフィルム等 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
9月	職員健康診断事後措置 職員胃部検診（手形キャンパス） 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	個別保健指導、医療機関へ紹介等 保健事業団 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
10月	「大学生と健康B」授業開始 秋季入学外国人留学生胸部X線検診 第62回全国大学保健管理研究集会 総合型選抜Ⅰ試験（国際資源学部・ 総合環境理工学部・情報データ科学部） 秋田大学大学祭（2日間） 秋田大学防災訓練 毒物及び劇物危険物点検 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	前期に同じ 胸部X線撮影・問診票 神戸国際会議場　（当番校：神戸大学） 医務室業務 医務室業務 チェック票に基づいて施設内を点検、報告 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
11月	学校推薦型選抜Ⅰ （教育文化学部・総合環境理工学部） 秋田大学駅伝大会 東北地方部会　保健・看護分科会幹事会 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視 X線室漏洩線量測定	 医務室業務 千秋公園　（エントリー数少数のため中止） 東北大学保健管理センター 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 外部機関に依頼（千代田テクノル）

月	業　務	内　容
12月	放射線業務従事者特別健康診断（下期） 有機溶剤、特定化学物質取扱者健康診断（下期） 第46回全国大学メンタルヘルス学会総会 秋田大学ISO14001更新審査 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	秋田県総合保健事業団へ委託 秋田市にぎわい交流館　(共催:秋田大学) 手形・保戸野キャンパス 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
1月	大学入学共通テスト 学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室業務 医務室業務 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
2月	一般選抜前期日程試験 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室業務 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
3月	一般選抜後期日程試験 第26回全国大学フィジカルヘルスフォーラム （当番校:九州大学） 一般選抜前期・後期日程追試験 卒業式（あきた芸術劇場ミルハス） 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室業務 医務室 看護業務担当（医務室） 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接

学内会議	学生支援企画会議 学生特別支援室会議 学生サポートルーム担当者会議	所長出席 所長出席 看護師1名出席
委員会	手形キャンパス安全衛生委員会 保戸野キャンパス安全衛生委員会 秋田大学（手形・保戸野地区）環境管理委員会	医師（産業医）2名、看護師（衛生管理者）1名出席 医師（産業医）2名出席 看護師1名出席

Ⅲ　令和6年度 保健管理業務概要

1. 学生保健管理実施状況

（１）学生定期健康診断検査項目

		新入生	新編入生	卒年次生	左記以外の学生	摘要
計測・検査	身長・体重	○	○	○	○	
	胸部X線撮影	○	○	○	※1	デジタル撮影（※1）
	検　尿	○	○	○	○	尿糖・蛋白・潜血（※2）
	血　圧	○	○	○	○	自動血圧計
	視　力	○	○	○		簡易式視力計
	聴　力	○	○	△		オージオメーター
診察	内　科	○	○	○	○	聴診は新入生、新編入生、卒年次生のみ
	耳 鼻 科	○	○			問診票
	眼　科	○	○			問診票

○　全員対象の項目
△　新入生の健診時に所見のあった学生が対象

※1　胸部X線撮影の対象者は次の通り（平成17年度～結核予防法の一部改正により）

A. 新入生
1. 学部学生　1年生（新入生）
2. 研究科　1年生（新入生）
3. 各学部　新編入生

B. 実習のある学生
4. 教育実習への参加が予定されている学生
5. 介護等体験への参加が予定されている学生
6. 病院実習への参加が予定されている学生
7. インターンシップへの参加が予定されている学生
8. その他、医療関係施設等に実習予定の学生
9. 前年度上記5～8の実習に参加した学生
10. 海外資源フィールドワークへの参加が予定されている学生

C. 就職活動をする学生

D. 経過観察の学生
11. 前年度の健診で、要経過観察と判定された学生

※2　健診翌朝の早朝尿提出（医学科5～6年のみ健診時早朝尿持参）

（２）学生定期健康診断受診状況

【 学　部 】

学部		学　年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
国際資源学部		1 年 次	150	137	13	91.3%
		2 年 次	130	105	25	80.8%
		3 年 次	120	116	4	96.7%
		4 年 次	126	105	21	83.3%
		計	526	463	63	88.0%
教育文化学部		1 年 次	222	218	4	98.2%
		2 年 次	219	211	8	96.3%
		3 年 次	231	205	26	88.7%
		4 年 次	229	209	20	91.3%
		計	901	843	58	93.6%
医学部	医学科	1 年 次	127	124	3	97.6%
		2 年 次	136	127	9	93.4%
		3 年 次	126	94	32	74.6%
		4 年 次	135	122	13	90.4%
		5 年 次	121	94	27	78%
		6 年 次	132	123	9	93.2%
		計	777	684	93	88.0%
	保健学科	1 年 次	110	110	0	100%
		2 年 次	112	108	4	96.4%
		3 年 次	112	110	2	98%
		4 年 次	107	105	2	98.1%
		計	441	433	8	98.2%
理工学部		1 年 次	427	397	30	93.0%
		2 年 次	428	373	55	87.1%
		3 年 次	434	366	68	84.3%
		4 年 次	413	357	57	86.4%
		計	1,702	1,493	209	87.7%
学 部 合 計			4,347	3,916	431	90.1%

【 大学院 】

研　究　科	学　　年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
国際資源学研究科 博士前期課程	1　年　次	60	53	7	88.3%
	2　年　次	57	45	12	78.9%
	計	117	98	19	83.8%
国際資源学研究科 博士後期課程	1　年　次	8	8	0	100.0%
	2　年　次	20	14	6	70.0%
	3　年　次	21	14	7	66.7%
	計	49	36	13	73.5%
教育学研究科修士課程	1　年　次	7	5	2	71%
	2　年　次	8	6	2	75.0%
	計	15	11	4	73.3%
教育学研究科 専門職学位課程	1　年　次	19	10	9	52.6%
	2　年　次	15	15	0	100.0%
	計	34	25	9	73.5%
医学系研究科修士課程	1　年　次	3	2	1	66.7%
	2　年　次	3	0	3	0%
	計	6	2	4	33%
医学系研究科博士前期課程	1　年　次	14	2	12	14.3%
	2　年　次	15	0	15	0.0%
	計	29	2	27	6.9%
医学系研究科博士後期課程	1　年　次	3	1	2	33.3%
	2　年　次	4	0	4	0.0%
	3　年　次	7	1	6	14.3%
	計	14	2	12	14.3%
医学系研究科博士課程	1　年　次	30	7	23	23.3%
	2　年　次	30	7	23	23.3%
	3　年　次	32	2	30	6.3%
	4　年　次	94	7	87	7.4%
	計	186	23	163	12.4%
理工学研究科 博士前期課程	1　年　次	159	143	16	89.9%
	2　年　次	168	153	15	91.1%
	計	327	296	31	90.5%
理工学研究科 博士後期課程	1　年　次	12	9	3	75.0%
	2　年　次	7	4	3	57.1%
	3　年　次	29	10	19	34.5%
	計	48	23	25	47.9%
工学資源学研究科 博士後期課程	3　年　次	1	0	1	0.0%
	計	1	0	1	0.0%
先進ヘルス工学院修士課程	1　年　次	12	12	0	100.0%
	2　年　次	10	10	0	100.0%
	計	22	22	0	100.0%
大 学 院 合 計		848	540	308	63.7%
非正規生(留学生)		13	11	2	84.6%
全 学 生 総 計		5,208	4,467	741	85.8%

＊対象者数は令和6年5月1日現在の在籍学生数

（３）各検査項目別受診状況及び結果

①X線検査結果

	受診者数	要精査数	内訳									結果			
			結節陰影	気胸	索状影	右肺尖肥厚	胸膜ひきつれ	右横隔膜挙上	骨濃度上昇	肋骨陰影	骨島	異常なし	経過観察	要医療	未受診
学部	3,915	13	3	2	1	1	2	1	1	1	1	9	2	0	2
大学院	535	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,450	13	3	2	1	1	2	1	1	1	1	9	2	0	2

②血圧測定結果

	受診者数	健診時高血圧者数	再検査					家庭血圧対象者	所見				結果	
			受診者数	異常なし	Ⅰ度高血圧	Ⅱ度高血圧	Ⅲ度高血圧		実施せず	異常なし	白衣高血圧	持続性高血圧	経過観察	要精査
学部	3,914	28	16	15	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
大学院	540	17	9	7	1	1	0	2	1	0	0	1	1	1
合計	4,454	45	25	22	2	1	0	3	2	0	0	1	1	1

＊再検査時にⅡ度高血圧だった大学院生は家庭血圧測定をせずに受診し治療開始となった。

③尿検査結果

	受診者数	有所見者数	再検査		結果			病名・所見				
			対象者数	受診者数	異常なし	経過観察	要精査	異常なし	経過観察	腎疾患	糖尿病（疑）	不明
学部	3,596	125	121	91	74	1	16	8	2	1	3	2
大学院	492	15	14	8	6	0	2	0	0	0	1	1
合計	4,088	140	135	99	80	1	18	8	2	1	4	3

＊有所見者140名中、通院中の5名は、再検査の対象外とした。
＊生理期間中も検査対象としたため、潜血のみが陽性の場合は再検査の対象外とした。

④内科診察結果

	受診者数	病名・所見				
		心雑音	高血圧	甲状腺腫大	貧血症状	無月経
学部	3,916	4	2	1	6	1
大学院	540	0	1	2	0	0
合計	4,456	4	3	3	6	1

＊聴診は新入生、新編入生、卒年次生のみ

（４）秋季留学生胸部Ｘ線検診受診状況

令和 6 年 10 月 22 日実施

	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
正規生	13	11	2	84.6%
非正規生	28	28	0	100.0%
合計	41	39	2	95.1%

＊検診項目：問診票および胸部Ｘ線撮影

（５）生活問診票結果

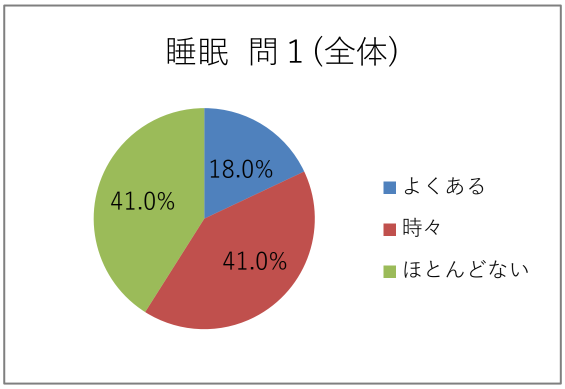
・調査時期：2024 年 4 月～6 月

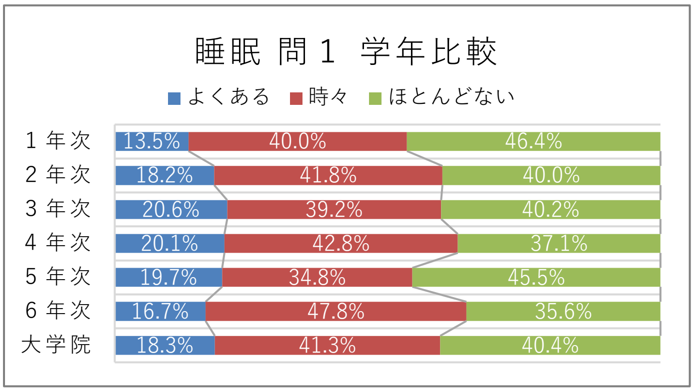
・対象者：2024 年度 5 月 1 日に在籍している学生 5,195 名（非正規生は除く）

・回収状況：4,271 名（回収率 82.2%　Microsoft Forms にて実施）

◆睡眠について

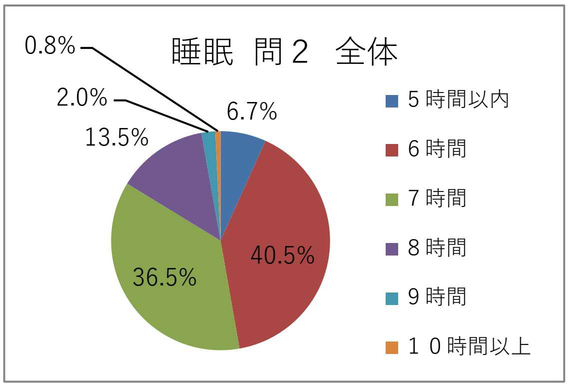
問 1．布団に入って眠りにつくのに時間がかかることがありますか。

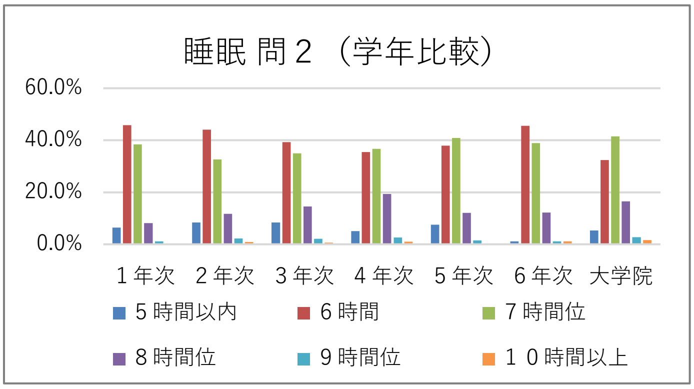




・眠りにつくのに時間がかかることが「よくある」「時々ある」と答えた方が 59%であった。昨年より 10%近く減少しその分「ほとんどない」と答えた方が増加した。

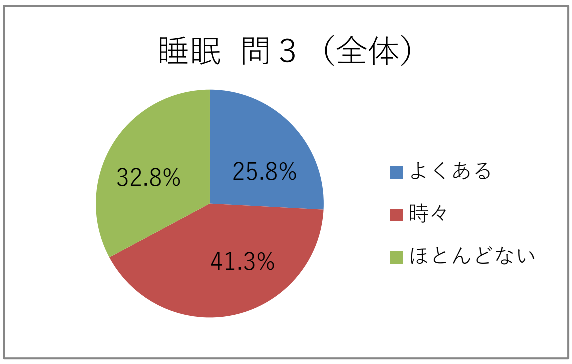
問 2．睡眠時間は普段どのくらいですか。

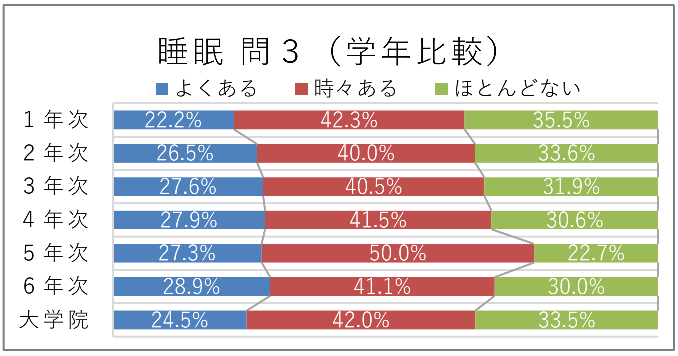




・睡眠時間は 6～7 時間と答えた方が 77%で、いずれの学年においても 6 時間以上の睡眠を取っている方が大多数であった。

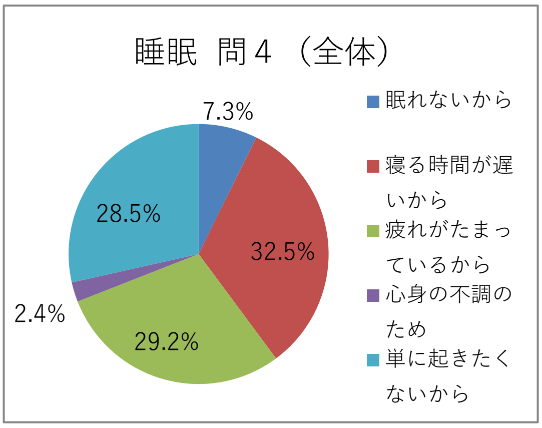
問 3．朝、起きるのがつらいことがありますか。

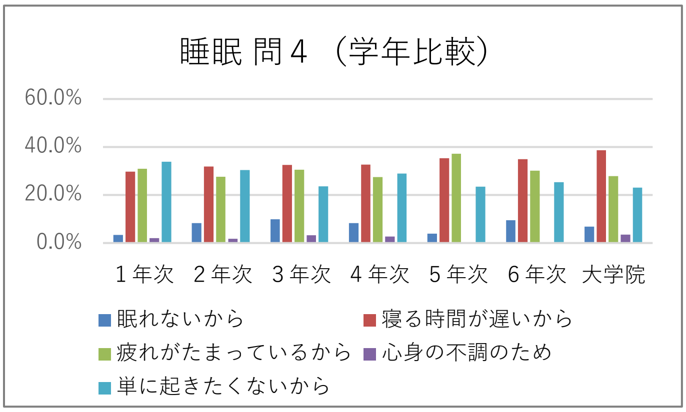




・朝起きるのがつらいことが「よくある」と答えた方は 25.8%であり、昨年よりも 2.7%減少した。

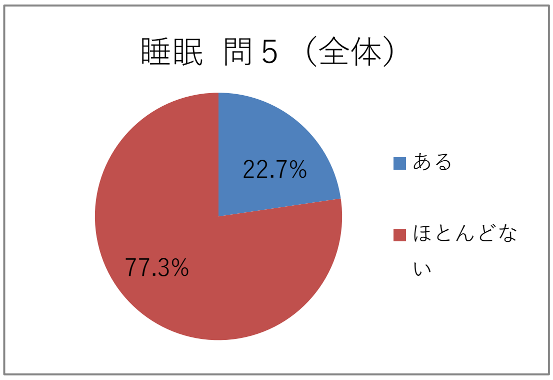
問４．問３で「よくある、時々ある」と答えた方へお聞きします。その理由を一つ選んでください。
（n＝2869）

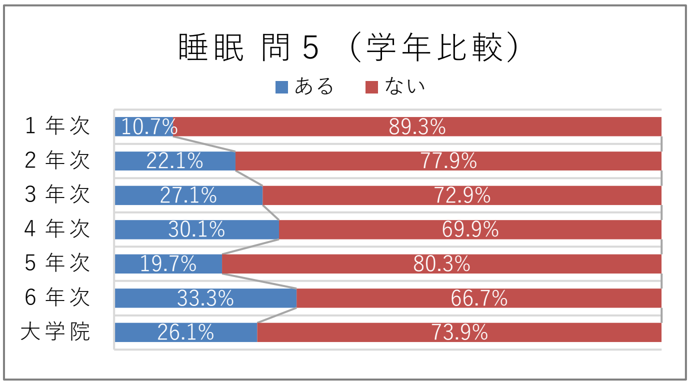




・起きるのがつらい理由では、「単に起きたくないから」が昨年よりも 4%増加し、「眠れないから」「心身の不調のため」と答えた方が若干増加した。

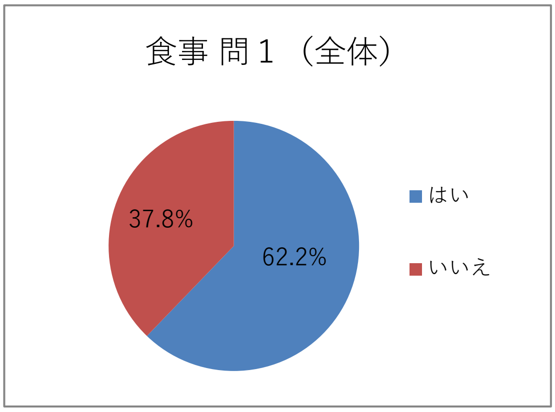
問５．夜、眠れずに昼夜逆転することはありますか。（勉強やアルバイト、休日はのぞく）

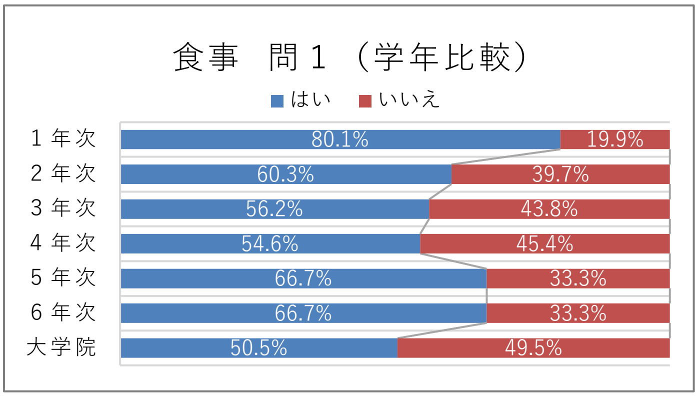




・夜眠れずに昼夜逆転することが「ある」と答えた方の全体の割合は昨年より 2.3%減少した。学年比較では４年次生と６年次生の割合が 30%を超えていた。

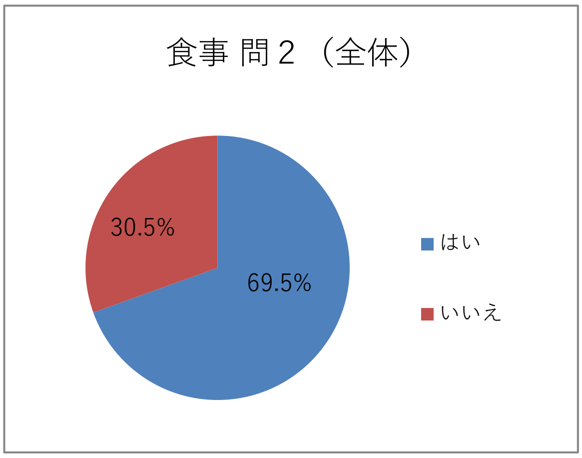
◆食事について
問１．朝食はきちんと食べていますか。

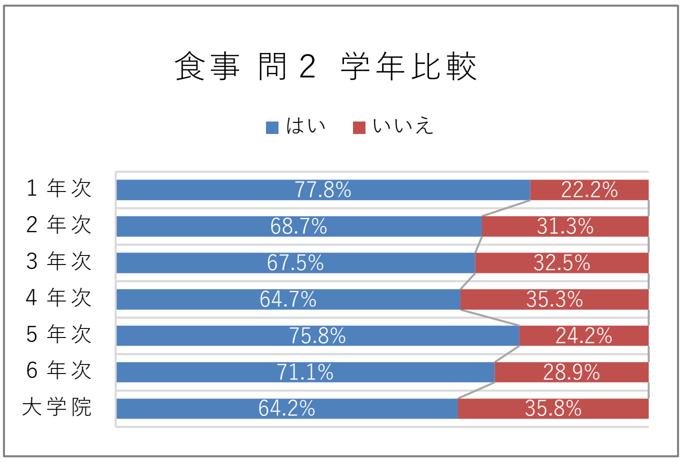




・「朝食をきちんと食べる」と答えた方は 62.2%であった。１年次生の割合は毎年高い傾向にあるが、今年は８割を超えた。

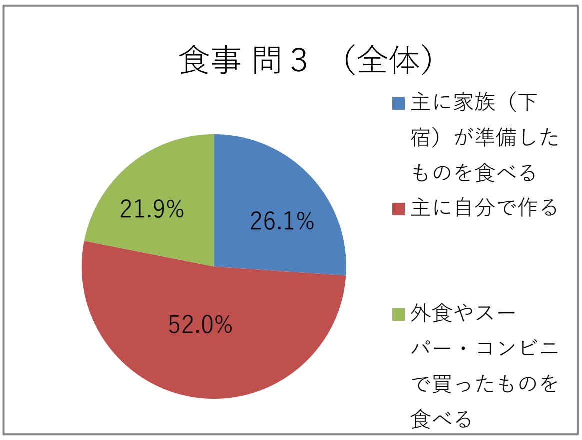
問２．食事はバランスを考えていますか。

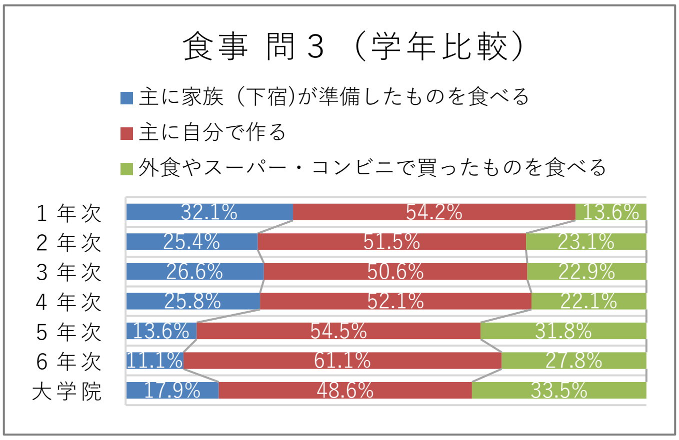




・「食事のバランスを考えて食べる」と答えた方は 69.5%であり、昨年と同様であった。

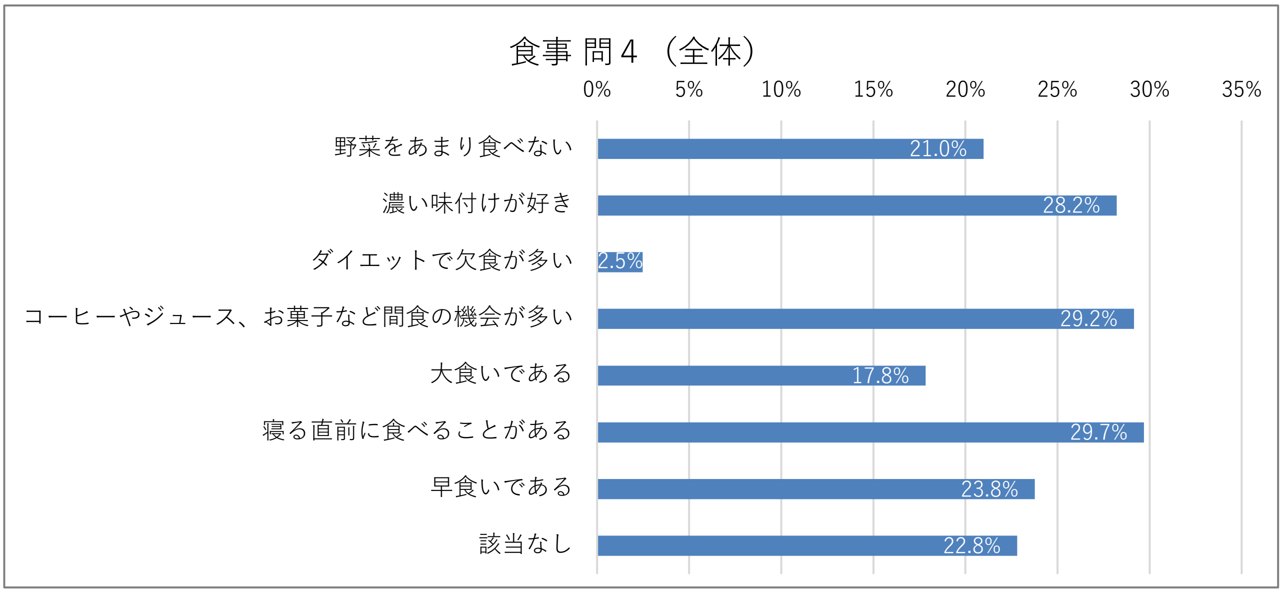
問３．あなたの食事状況についてあてはまるものをすべて選んでください。

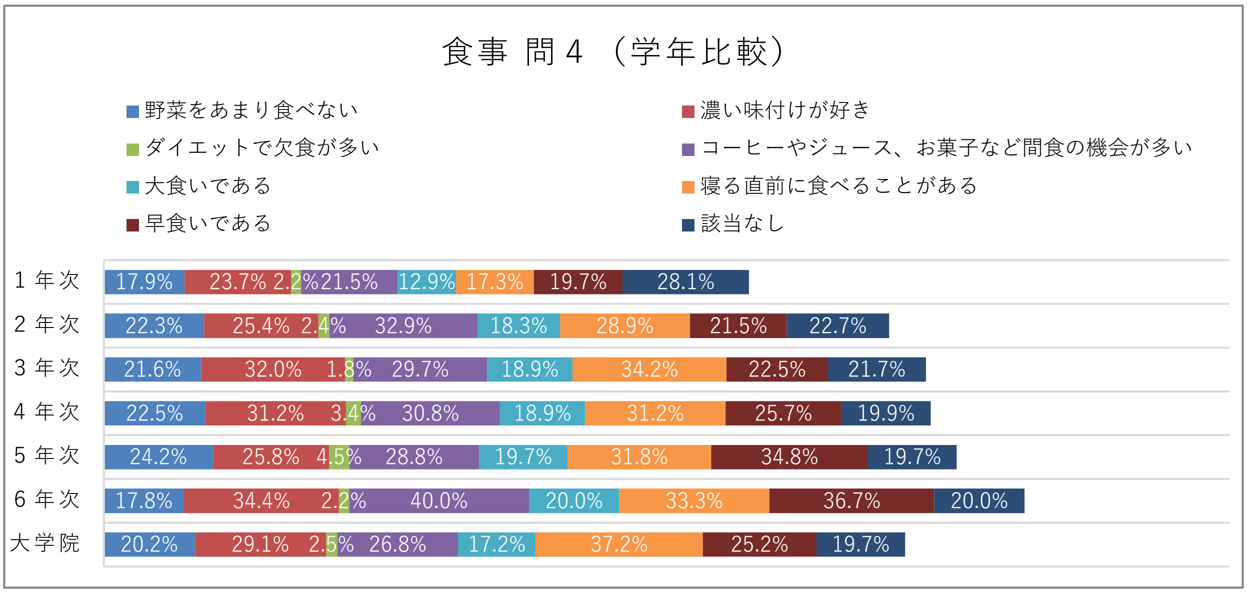




・「主に自分で作る」と答えた方が半数を超えていた。

問４．あなたの食事状況について当てはまるものをすべて選んでください。

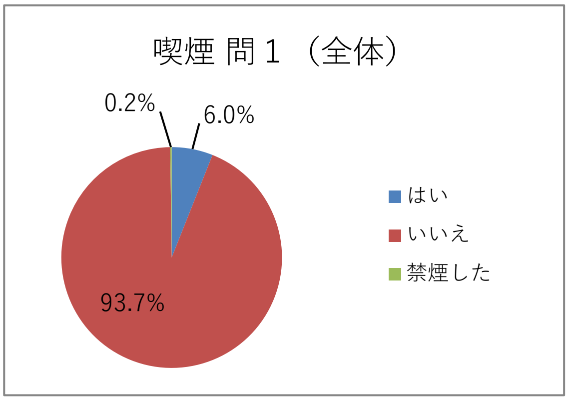


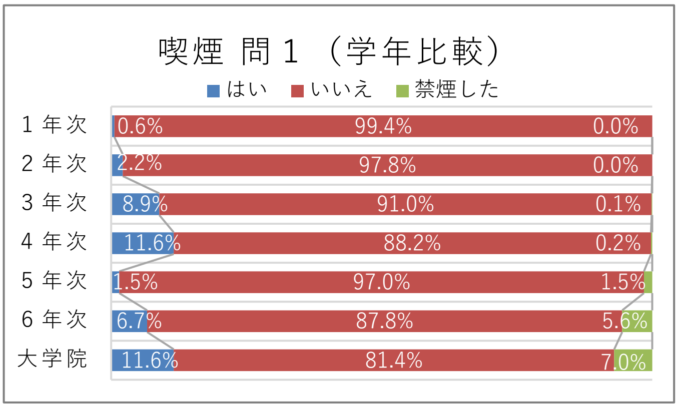


・いずれの学年でも「ダイエットで欠食をする」と答えた割合は例年と同様に低く、「濃い味付けが好き」「コーヒーやジュース、お菓子など間食の機会が多い」「寝る直前に食べることがある」「早食いである」と答えた方が多くみられた。

◆喫煙について

問１．あなたはたばこを吸いますか。

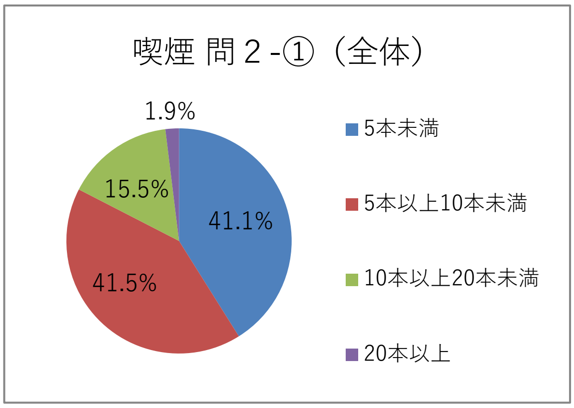


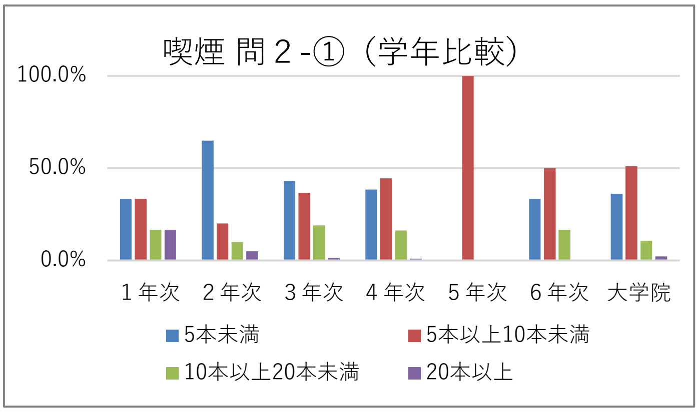


・「たばこを吸う」と答えた方は全体の 6%(258 名)であり、昨年より 2.4%増加した。

問２．ここからは、上記の質問に「はい」と答えた方にお聞きします。(n=258)

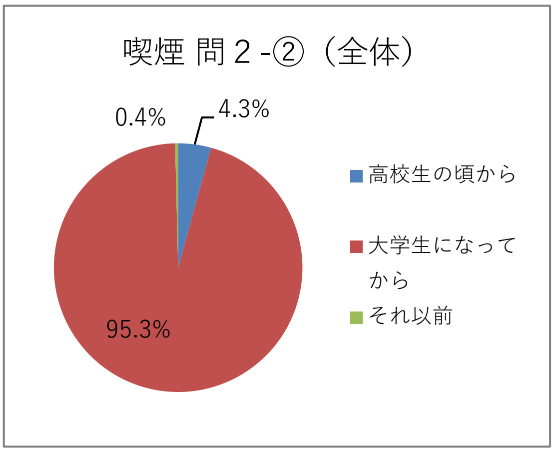
① 一日何本吸いますか。

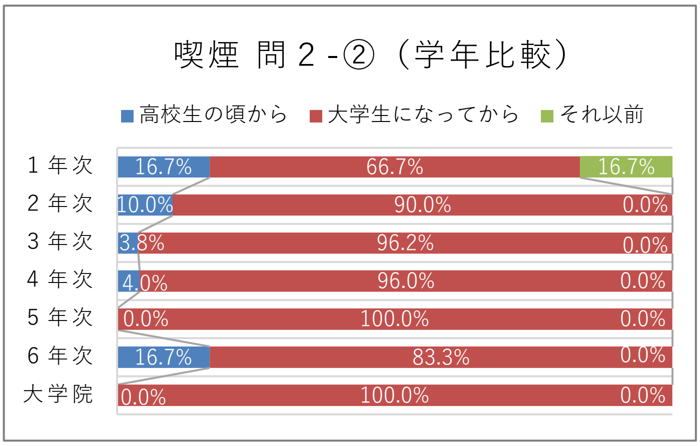




・一日の喫煙本数は、10 本以上吸うと答えた方が昨年よりも 6.7%減少し 17.4%であった。

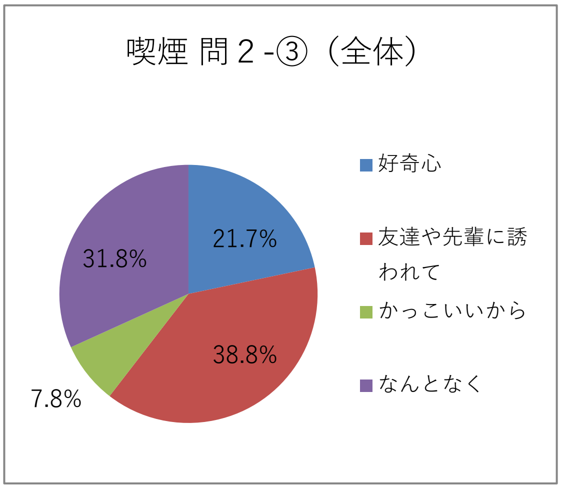
② いつから吸っていますか。

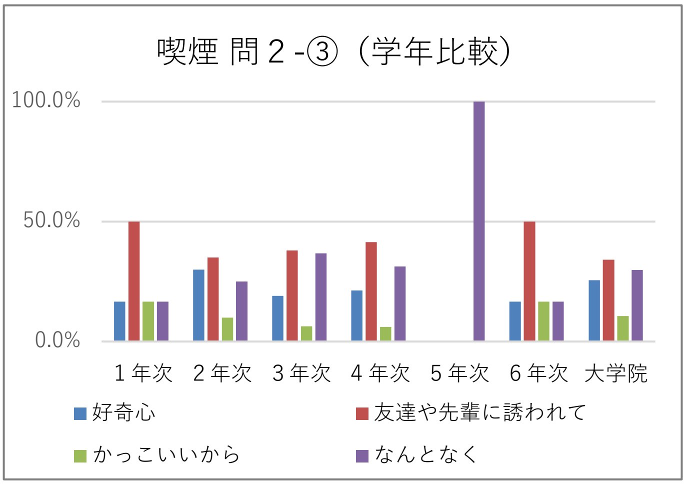




・吸い始めは「大学生になってから」と答えた方が 95.3％を占めたが、1 年次生の 16.7％が「高校生の頃から」と答えていた。

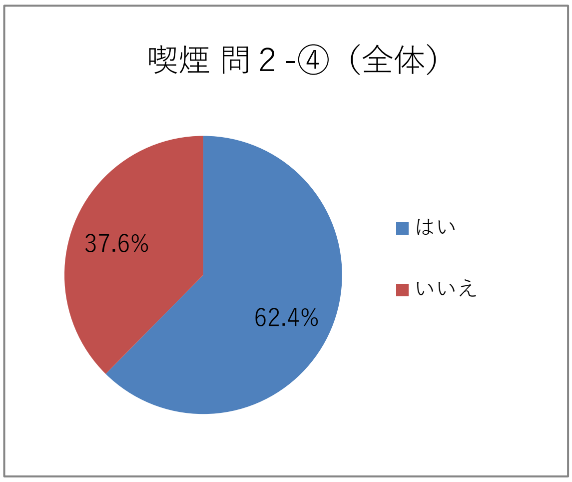
③ 吸い始めたきっかけは何ですか。

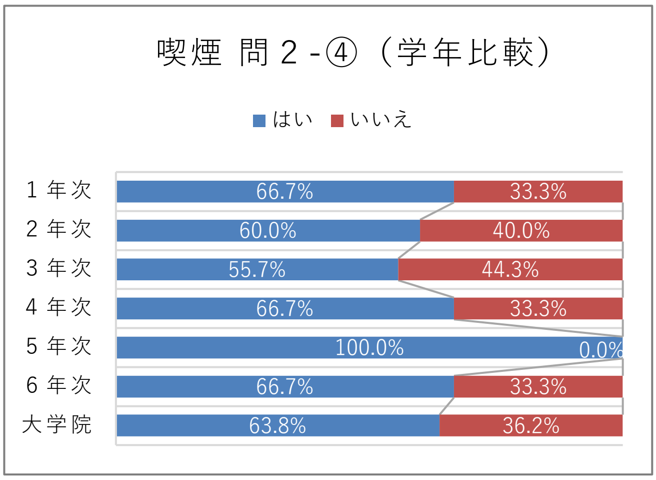




・吸い始めたきっかけとして、「友達や先輩に誘われて」と答えた方が 38.8％で昨年の倍以上に増加した。その反面、自らの意思で吸い始めた「好奇心」「かっこいいから」「なんとなく」と答えた方が減少した。

④ 機会があれば禁煙したいですか。

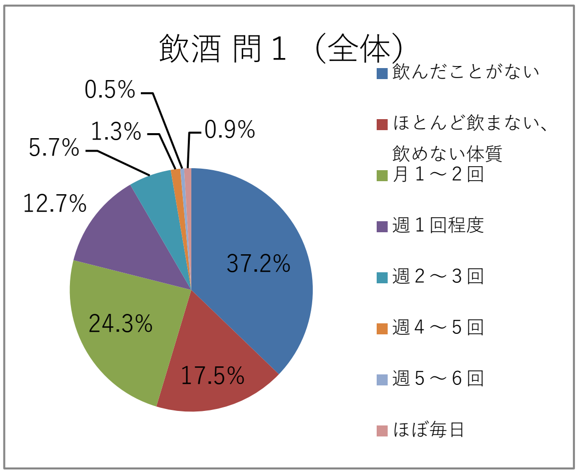


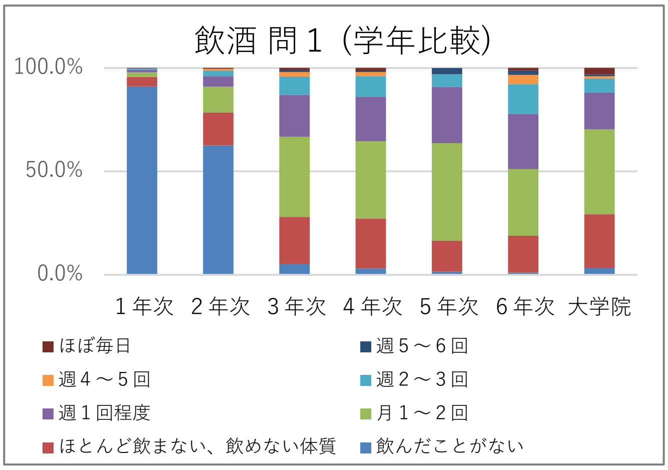


・禁煙したいと答えた方が 6 割以上であった。

◆飲酒について

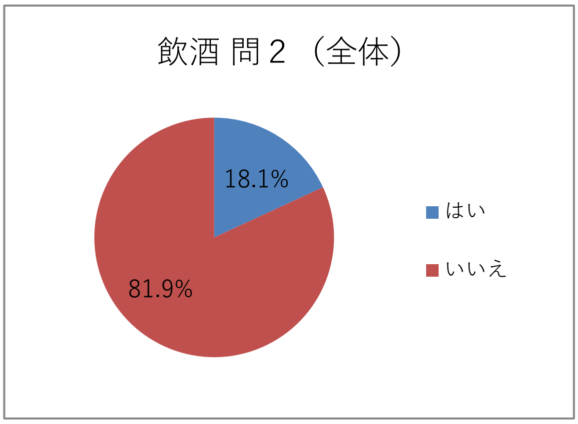
問１．あなたはお酒を飲みますか。

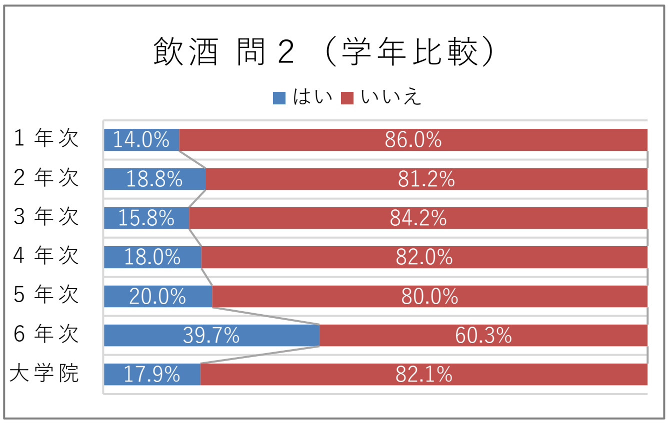




・「飲んだことがない」「ほとんど飲まない、飲めない体質」と答えた方が半数以上であった。

問２．飲む方は、泥酔するほど飲むことはありますか。(n=4271)

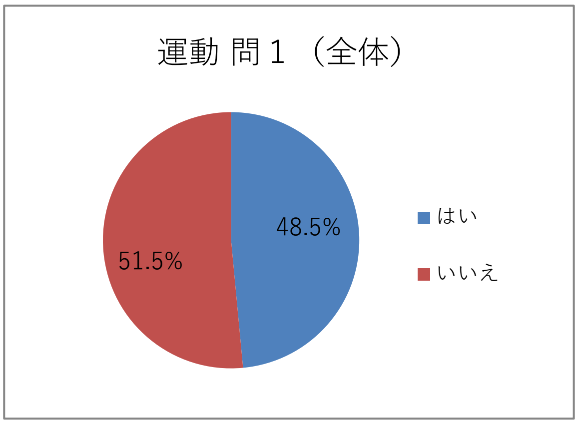


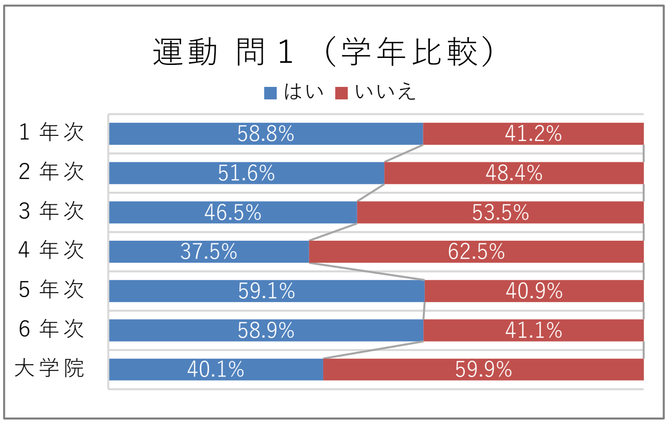


・泥酔するほど飲むと答えた方は、昨年よりも 1.2%増加し 18.1%であった。

◆運動について

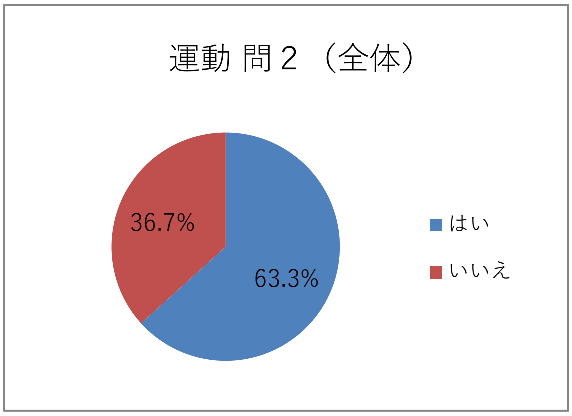
問１．一回３０分以上の軽く汗をかく運動を週２回以上していますか。

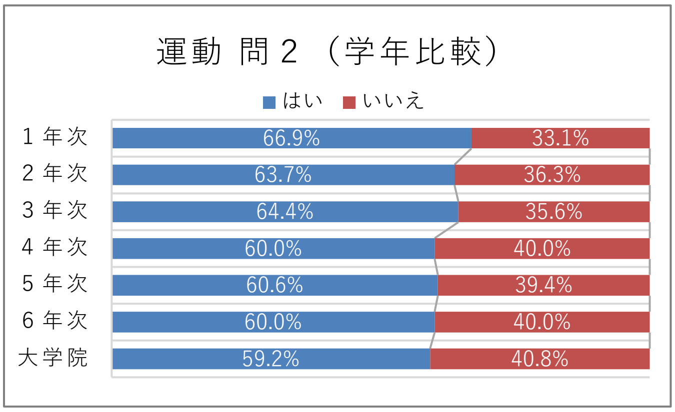




・週２日以上軽い運動をしていると答えた方は、昨年よりも 2%増加し 48.5%であった。3 年次生、4 年次生、大学院生以外は半数を超えていた。

問２．日常生活において歩行または同等の活動を一日１時間以上していますか。

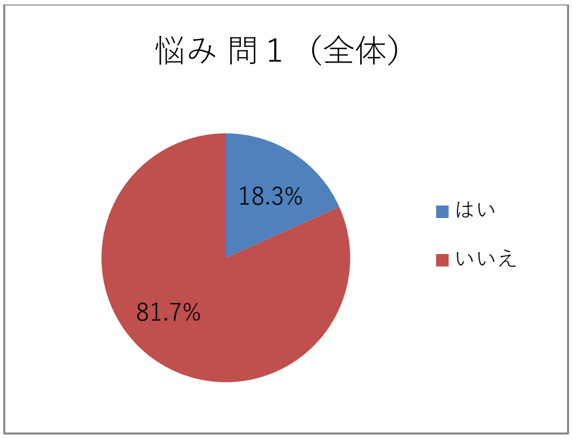


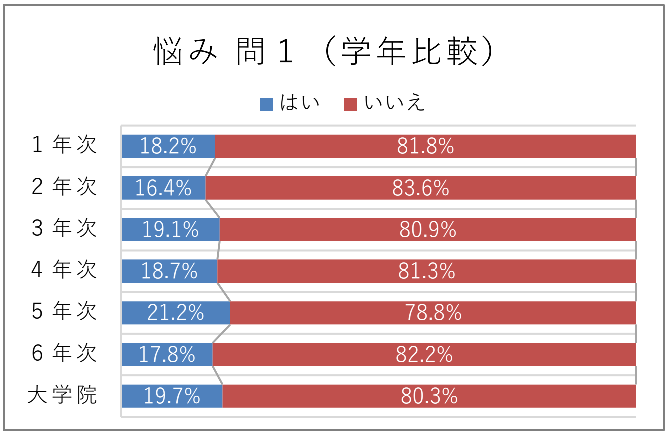


・日常生活で歩行または同等の活動を一日１時間以上していると答えた方は昨年よりも 3.4％増加し 63.3％であった。

◆悩みについて

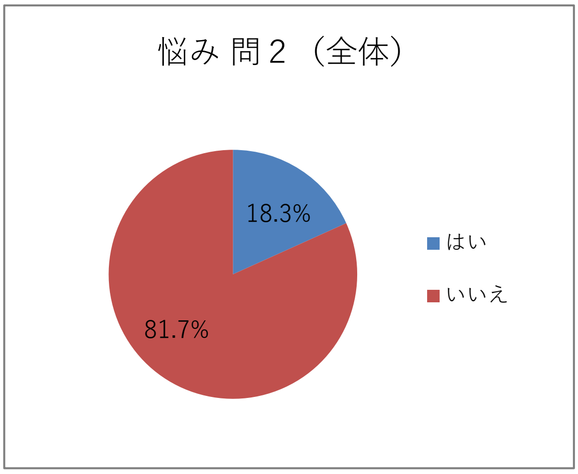
問１．人にはなかなか言えない悩みがありますか。

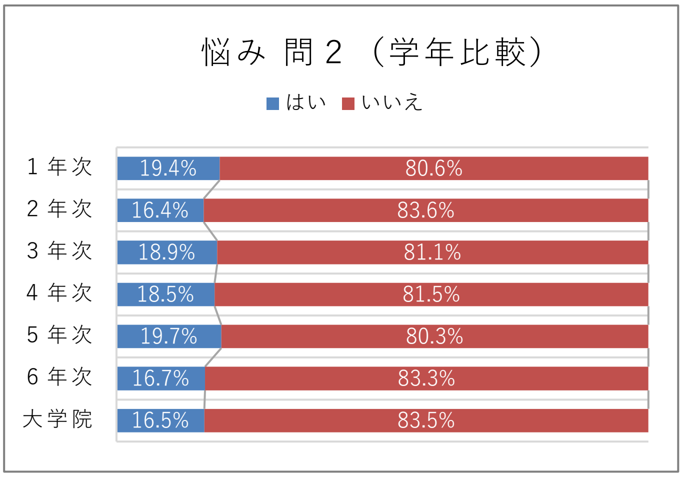




・悩みがあると答えた方は、昨年よりも 8.6％減少し 18.3％であった。

問２．誰かに話を聞いてもらいたいと思いますか。





・「話を聞いてもらいたい」と答えた方は昨年よりも 6.9％減少し 18.3％であった。

（６）学部新入生における麻疹ワクチン接種状況（医学部は除外）

	2 回接種/抗体陽性/ 1 回接種(大学入学年)者数(率)	1 回接種(中1/高 3)者数(率)	1 回接種(幼少)者数(率)	接種なし/未提出者数(率)	抗体陽性/大学入学年接種者数(率)(再掲)
2010 年	690 (86.5%)	70 (8.8%)	15 (1.9%)	23 (2.9%)	130 (16.3%)
2011 年	661 (82.4%)	99 (12.3%)	10 (1.2%)	32 (4.0%)	98 (12.2%)
2012 年	662 (82.4%)	105 (13.1%)	7 (0.9%)	29 (3.6%)	106 (13.2%)
2013 年	717 (91.3%)	39 (5.0%)	8 (1.0%)	21 (2.7%)	64 (8.2%)
2014 年	713 (92.0%)	16 (2.1%)	19 (2.5%)	27 (3.5%)	35 (4.5%)
2015 年	690 (89.3%)	9 (1.2%)	44 (5.7%)	30 (3.9%)	37 (4.8%)
2016 年	671 (86.2%)	9 (1.2%)	68 (8.7%)	30 (3.9%)	30 (3.9%)
2017 年	698 (89.9%)	14 (1.8%)	35 (4.5%)	29 (3.7%)	45 (5.8%)
2018 年	736 (90.6%)	15 (1.8%)	39 (4.8%)	22 (2.7%)	34 (4.2%)
2019 年	739 (95.0%)	2 (0.2%)	13 (1.7%)	24 (1.7%)	52 (6.7%)
2020 年	730 (96.2%)	0 (0.0%)	10 (1.3%)	9 (1.2%)	35 (4.6%)
2021 年	746 (95.5%)	0 (0.0%)	12 (1.5%)	19 (2.4%)	17 (2.2%)
2022 年	731 (94.4%)	0 (0.0%)	25 (3.2%)	16 (2.1%)	13 (1.7%)
2023 年	729 (94.9%)	0 (0.0%)	14 (1.8%)	12 (1.6%)	23 (3.0%)
2024 年	734 (95.2%)	1 (0.1%)	2 (0.3%)	31 (4.0%)	16 (2.1%)

（注）1）2009-2013年は暫定的麻疹風疹ワクチン第4期接種者（高校3年生対象）が大学へ入学した年度

2）2014-2018年は暫定的麻疹風疹ワクチン第3期接種者（中学1年生対象）が大学へ入学した年度

3）2019年度入学者から 麻疹風疹ワクチン接種が小学校入学前までの2回接種法に変更された

4）2回接種者には大学入学年の接種により2回接種となった例も含む

5）入学年接種は大学入学年における3月以降の接種

6）麻疹抗体陽性は、EIA(enzyme immunoassay)法(IgG)で4.0以上

（まとめ）

1） 2回接種/抗体陽性/1回接種(大学入学年)群及び1回接種(中1/高3)群は2024年95.2%であった。この群は麻疹発病予防に有効な群と推測され、2013年、2014年までは90%台で推移し、ほぼ集団感染防御閾値にあった。その後、麻疹風疹ワクチンの暫定的接種の終了に伴い漸減し、2016年は86.2%と低下した。2017年は89.9%と前年に比べ増加し、以降90%台に回復した。2006年より本邦における麻疹ワクチン接種は小学校入学前までの2回接種法に変更され、この年齢層が2019年度より大学へ入学しており、2024年度もほとんどの新入生が小学入学前に2回の接種を受けており、大学入学前に１回のみの接種者は主に外国籍学生であった。

2） 接種なしは接種歴が明らかでない外国籍学生と接種状況問診票を提出しなかった日本人学生が含まれており、実際の接種なしは少ないものと考えられる。

3） 抗体陽性/入学年接種群は入学時の麻疹ワクチン接種に関する問診票とワクチン接種推奨に呼応した群とみなされ、暫定的麻疹風疹ワクチン接種の施行に伴い、2011年から2016年までに13%台から3%台まで減少したが、2017～2024年は1%後半～6%台で推移しており一定の割合で認められている。麻疹については、海外における流行が報告されている。特に、ベトナムをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しており、今後、輸入事例の更なる増加や、国内における感染伝播事例が増加することが懸念される。2023年新幹線内での複数感染の報告があり、さらに2025年1月以降は渡航後の麻疹感染者が増加しており、大学入学時の麻疹に関する問診票と必要者へのワクチン接種の勧奨は今後も継続すべきと考える。

2. 職員保健管理実施状況

（1）職員健康診断対象者及び検査項目

	対　象　者	検　査　項　目
一般定期健康診断	全　員	既往歴及び業務歴の調査 自他覚症状の有無の検査 身長体重計測（BMI・肥満度） 視力、聴力、血圧 尿検査（蛋白、糖、潜血、ウロビリ） 胸部X線撮影
	35歳及び40歳以上	腹囲測定 貧血検査（RBC、Hb） 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP） 血中脂質検査（LDL-CH、HDL-CH、TG） 空腹時血糖、ヘモグロビンA1c クレアチニン、尿酸 心電図検査
	40歳以上	便潜血検査（2日法） 血液検査（ペプシノゲンⅠ型・Ⅱ型） 胃部X線検査（バリウム検査）
特殊健康診断	電離放射線業務従事者	問診、血液検査（末梢血）、眼、皮膚等
	有機溶剤取扱者	問診、血液検査、尿検査等
	特別化学物質取扱者	問診、血液検査、尿検査等
	粉じん作業従事者	問診、胸部X線撮影（直接）

＊平成 22 年度から秋田県総合保健事業団に委託

（２）職員一般定期健康診断受診状況（手形・保戸野キャンパス）

検査項目	対象者数			受診者数			受診率	有所見者数			有所見率
	男	女	計	男	女	計	（%）	男	女	計	（%）
胸部X線 （全員）	343	243	586	314	228	542	92.5%	2	3	5	0.9%
血圧測定 （全員）	343	243	586	316	237	553	94.4%	112	43	155	28.0%
尿検査 （全員）	343	243	586	317	226	543	92.7%	36	34	70	12.9%
肝機能 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	97	21	118	30.6%
脂質代謝 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	156	85	241	62.6%
糖代謝 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	83	43	126	32.7%
貧血 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	16	39	55	14.3%
腎機能 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	28	13	41	10.6%
尿酸 （35才,40才以上）	252	159	411	227	158	385	93.7%	50	4	54	14.0%
心電図 （35才,40才以上）	252	159	411	226	157	383	93.2%	37	37	74	19.3%
胃部検診ペプシノゲン （40才以上）	238	146	384	212	145	357	93.0%	10	3	13	3.6%
便潜血 （40才以上）	238	146	384	202	133	335	87.2%	11	7	18	5.4%
胃部X線検診 （40才以上事前申込）	13	5	18	13	5	18	100.0%	2	1	3	16.7%
人間ドック	（35才以上）			114	60	174					

＊対象者数は、休職者・育児休業者及び人間ドック受診者を除く

（３）特殊健康診断

電離放射線業務従事者健康診断

	第1回 （6月）				第2回 （12月）			
	対象者	省略	受検者	有所見者数	対象者	省略	受検者	有所見者数
職員	41	38	3	0	45	40	5	1
学生	19	12	7	0	20	17	3	0
合計	60	50	10	0	65	57	8	1

＊省略；問診で立ち入りがなく、産業医が省略できるとしたもの

有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断

	第1回 （6月）			第2回 （12月）		
	対象者	受検者	有所見者数	対象者	受検者	有所見者数
職員	29	29	2	27	27	3

＊要精検者は、産業医の診察および作業環境調査の上経過観察とした

粉じん作業従事者健康診断

	対象者	省略	受検者	有所見者数
職員	4	3	1	0

3. 保健管理センター利用状況

（１）学部別・月別利用者数

学部等	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
国際資源学部	男	29	40	23	28	17	8	17	13	27	14	13	5	234
	女	10	20	19	7	2	5	12	10	13	10	3	1	112
	計	39	60	42	35	19	13	29	23	40	24	16	6	346
教育文化学部	男	17	31	38	20	3	3	9	13	12	4	3		153
	女	22	29	54	29	13	13	18	26	19	19	12	6	260
	計	39	60	92	49	16	16	27	39	31	23	15	6	413
医学部	男	15	25	25	18	3	2	10	2	10	8	5	5	128
	女	27	24	34	21	9	8	9	11	4	10	6	7	170
	計	42	49	59	39	12	10	19	13	14	18	11	12	298
理工学部	男	32	115	104	70	29	19	57	59	57	33	25	15	615
	女	22	42	48	42	8	4	17	32	18	10	9	1	253
	計	54	157	152	112	37	23	74	91	75	43	34	16	868
国際資源学研究科	男	19	24	20	17	8	12	19	15	14	9	9	13	179
	女	11	3	9	3	1	2	6	5	2	1	1	1	45
	計	30	27	29	20	9	14	25	20	16	10	10	14	224
教育学研究科	男	6	3	4	1						2			16
	女			2			1							3
	計	6	3	6	1		1				2			19
医学系研究科	男													
	女	1		1										2
	計	1		1										2
理工学研究科	男	30	26	28	44	29	23	27	37	27	20	24	15	330
	女	8	11	12	14	4	4	5	8	7	2	3	1	79
	計	38	37	40	58	33	27	32	45	34	22	27	16	409
先進ヘルスケア工学院修士課程	男	1												1
	女													
	計	1												1
学生合計	男	149	264	242	198	89	67	139	139	147	90	79	53	1,656
	女	101	129	179	116	37	37	67	92	63	52	34	17	924
	合 計	250	393	421	314	126	104	206	231	210	142	113	70	2,580
卒業生								1	1		1			3
職員		19	16	16	13	33	34	29	20	9	7	12	14	222
その他				1	1	1		2			1		1	7
総計		269	409	438	328	160	138	238	252	219	151	125	85	2,812

（２）疾病別利用者数

内科系	件数
感冒	58
頭痛	8
消化器症状（吐気、嘔吐、下痢）	23
腹痛	4
胸部痛	4
過呼吸	2
意識消失、立ちくらみ	15
めまい	8
その他健康相談等	54
合計	176

外科系	件数
創傷	68
打撲	17
捻挫	20
突き指	7
筋肉痛	1
腰痛	10
しびれ・神経障害	2
肩こり	1
関節痛	6
その他	3
合計	135

耳鼻科系	件数
扁桃腺炎	1
中耳炎	1
鼻出血	3
歯痛	2
口内炎	1
耳垢塞栓	1
その他	5
合計	14

眼科系	件数
麦粒腫	1
眼瞼炎	1
眼内異物	2
視力低下	1
合計	5

婦人科系	件数
生理痛	6
その他	2
合計	8

皮膚科系	件数
熱傷	7
できもの	4
湿疹	7
昆虫刺傷	5
その他	7
合計	30

その他	件数
コロナ相談	128
アルコールパッチテスト	91
身体計測機器利用	555
ホール・休養室利用	56

（３）健康相談件数

	学生	職員	その他	合計
精神科	321	33		354
内科	54	139	1	194
カウンセリング	443		2	445
看護師	533	45	7	585
合計	1,351	217	10	1,578

（４）学生相談　相談者内訳

相談者	今年度新規	継続者	延べ回数
本人	88	32	867
教員		1	10
事務		1	5
両親、家族			9
サポートルーム	1		2
医療機関			0
その他			0
合計	89	34	893

（５）学生相談　来談方法

相談方法	今年度新規	継続者	延べ回数
来所	89	33	847
電話		1	43
メール(手紙)			3
その他			0
合計	89	34	893

（６）学生相談　相談内容内訳

	進路・修学	就職	心理・性格	対人関係	心身の不調	ハラスメント	研究・論文	問題行動	学生生活	学費・生活費	その他	合計
学部	67	5	34	56	223		3		181		26	595
大学院	15	7	8	27	91		19		117		7	291
合計	82	12	42	83	314	0	22	0	298	0	33	886

進路・修学：不登校や研究室に行けない、不本意入学等、学業に関する相談
心理・性格：自分は発達障害なのではないか、個性、性格、気質等の相談
心身の不調：やる気が起きない、不眠、食欲がないなど心身に影響のある状態の相談
学生生活：一人暮らし、アルバイト等学業問題以外の相談

（７）健康診断証明書　発行内訳

	就職	進学・受験	奨学金申請	資格取得	実習等	大会出場	その他 アルバイト	発行数
国際資源学部	43	2	4		1	5	4	59
教育文化学部	53	1			311	44	12	421
医学部	305	8	14	1	21	1	48	398
理工学部	98	1	5		18	3	12	137
国際資源研究科	22		1	1	1		1	26
教育学研究科	3				1		2	6
医学研究科								0
理工学研究科	96		4				1	101
先進ヘルスケア工学院	4							4
発行数	624	12	28	2	353	53	80	1,152

（８）紹介状発行内訳

	学生	職員	合計
精神科			0
内科	48	6	54
合計	48	6	54

Ⅳ 安全衛生活動報告

労働安全衛生法に基づき、センター医師 2 名は産業医（手形・保戸野キャンパス）、また看護師1名は衛生管理者（手形キャンパス）として、職員の安全衛生管理業務を行っている。主な内容については以下の通り。

1. キャンパス内定期巡視及び安全衛生委員会への出席

定期的にキャンパス内巡視を実施し、毎月1回開催される安全衛生委員会へ出席した。

2. 職員定期健康診断事後措置（保健指導）

職員一般健康診断、特殊健康診断等の結果に基づく就業上の措置の判定を行い、産業医が必要と認めた職員に対して、面談による保健指導を行った。

保健指導の内容は、日常生活面での指導、健康管理に関する情報の提供、再検査もしくは精密検査、治療のための受診の勧奨など。

3. 長時間労働者面接

「時間外労働及び休日労働に関する労使協定」により、1 ヶ月 45 時間を超えて時間外労働を命じられた職員について、問診、診察、心電図等の産業医による面接を実施した。

面接対象者は、1 ヶ月 80 時間を超える者は全員、その他はチェックリスト提出により、希望者と産業医が必要と認めた者とした。

4. 高ストレス者面接

「労働安全法に基づくストレスチェック制度」により、高ストレス者として選定され、面接指導を受ける必要があると実施者が認めたものに対して、労働者からの申し出に応じて医師による面接指導を実施した。

5. 病休者の復帰前面談

「病休者と産業医の復帰前面談システム」により、病休者が職場復帰をする前に、産業医が面談を実施した。

Ⅴ　教育・研究活動報告

1. 学生講義

（1）教養教育科目

大学生と健康～上手に生きるための基礎知識～　〔Web 授業：オンデマンド型〕

前期（第1クォーター）	4月11日（木）	第1回	飲酒の害について	伏見　雅人
		第2回	高血圧とその関連疾患	佐野　正明
	4月18日（木）	第3回	脳と心の発達	伏見　雅人
		第4回	がんの予防	佐野　正明
	4月25日（木）	第5回	睡眠とこころの健康	竹島　正浩
		第6回	エイズと他の感染症	佐野　正明
	5月2日（木）	第7回	神経症と抑うつ	伏見　雅人
		第8回	海外渡航と感染症	佐野　正明
	5月9日（木）	第9回	ストレスとうつ病	伏見　雅人
		第10回	生活環境とアレルギー	佐野　正明
	5月16日（木）	第11回	大学生のメンタルヘルス	伏見　雅人
		第12回	喫煙の害について	伏見　雅人
	5月23日（木）	第13回	女性のやせ願望と食行動異常	筒井　幸
		第14回	トラウマとPTSD	伏見　雅人
	5月30日（木）	第15回	救急・救命	奥山　学
		第16回	試験（対面）	伏見　雅人

後期（第3クォーター）	10月3日（木）	第1回	飲酒の害について	伏見　雅人
		第2回	高血圧とその関連疾患	佐野　正明
	10月10日（木）	第3回	脳と心の発達	伏見　雅人
		第4回	がんの予防	佐野　正明
	10月17日（木）	第5回	睡眠とこころの健康	竹島　正浩
		第6回	エイズと他の感染症	佐野　正明
	10月24日（木）	第7回	神経症と抑うつ	伏見　雅人
		第8回	海外渡航と感染症	佐野　正明
	10月31日（木）	第9回	ストレスとうつ病	伏見　雅人
		第10回	生活環境とアレルギー	佐野　正明
	11月7日（木）	第11回	大学生のメンタルヘルス	伏見　雅人
		第12回	喫煙の害について	伏見　雅人
	11月14日（木）	第13回	女性のやせ願望と食行動異常	筒井　幸
		第14回	トラウマとPTSD	伏見　雅人
	11月21日（木）	第15回	救急・救命	奥山　学
	11月28日（木）	第16回	試験（対面）	伏見　雅人

（２）医学部講義

R6.4.15	木	公衆衛生・精神保健、地域精神医療	伏見　雅人
R6.5.24	金	びまん性肺疾患（3年次）	佐野　正明
R6.5.24	金	胸膜・縦隔疾患（3年次）	佐野　正明
R6.5.31	金	呼吸器疾患の症候と病態（4年次）	佐野　正明
R6.9.10	火	保健と福祉の制度　精神保健	伏見　雅人

（３）他大学講義

R6.11.28	木	病態生理学 呼吸器疾患	佐野　正明	秋田栄養短期大学講義

2. 禁煙支援システム（禁煙外来）

【 対 象 】　　禁煙を希望する学生及び教職員喫煙者

【 方 法 】　　ニコチン依存度（Fagerstrome Test）に基づくニコチン貼付薬漸減療法

【受診状況】　　令和 6 年度　受診者 1 名 （学生 0 名、職員1名）

3. 講演会等実施状況

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
R6.4.1	令和6年度国立大学法人秋田大学新採用職員研修 「ストレス・コーピング（セルフケア）について」	伏見雅人	秋田大学地方創生センター2号館大セミナー室 秋田大学
R6.4.5	令和6年度新入生オリエンテーション 「健康管理について」	伏見雅人	あきた芸術劇場ミルハス 秋田大学（入学式終了後）
R6.4.10	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.5.1	令和6年度理工学部物質科学科「初年次ゼミ」 「大学生のメンタルヘルス」	伏見雅人	秋田大学理工学部3号館理工3-319室 秋田大学
R6.6.6	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.6.18	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.7.5	令和6年度東北地区国立大学法人等施設担当部課長会議（第1回） 「職場のメンタルヘルスマネジメントについて」	伏見雅人	秋田大学本部管理棟3階第一会議室 秋田大学
R6.7.18	秋田産業保健総合支援センター産業医研修会 「職場のメンタルヘルス ～ うつ病・うつ状態について～」	伏見雅人	秋田県総合保健センター 秋田産業保健総合支援センター
R6.8.1	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.8.1 ～ R6.8.31	令和6年度労働安全衛生のための講演会 慢性閉塞性肺疾患から生活習慣を考える (WebClass)	佐野正明	秋田大学
R6.8.8	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.8.22	秋田産業保健総合支援センター産業保健セミナー 「知っておきたい認知症の基礎知識」	伏見雅人	秋田県総合保健センター （Web研修） 秋田産業保健総合支援センター

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
R6.9.18	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.10.3	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.10.30	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.11.6	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.11.14	秋田産業保健総合支援センター産業保健セミナー 「職場におけるハラスメント防止について」	伏見雅人	秋田県総合保健センター (Web研修) 秋田産業保健総合支援センター
R6.12.2	令和6年度診療報酬にかかる審査の充実を図るための職員研修	伏見雅人	市町村会館5階 国保連合会会議室 秋田県国民健康保険団体連合会
R6.12.3	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R7.1.28	職場におけるハラスメント防止研修	伏見雅人	潟上市役所4階常任委員会室1・2 潟上市
R7.2.5	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R7.3.4	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R7.3.6	秋田産業保健総合支援センター産業医研修会 「職場のメンタルヘルス ～ 精神疾患の基礎知識」	伏見雅人	秋田県総合保健センター 秋田産業保健総合支援センター
R7.3.8	第25回秋田呼吸リハビリテーション懇話会 ベーシックコース研修会 呼吸不全の病態と呼吸管理について	佐野正明	秋田呼吸リハビリテーション懇話会 Web開催
R7.3.18	秋田県医師会うつ自殺予防対策研修会・産業医研修会(県北地区) 「働く人のストレスとメンタルヘルスについて」	伏見雅人	大館北秋田医師会館 秋田県医師会

4. 研究報告

第 61 回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会　一般研究発表

「発熱、倦怠感を訴える学生の一例」

秋田大学保健管理センター
〇佐野正明、安保智秋、荻原佐智代、藤原友紀子、伏見雅人

【症例】留学生
【既往歴】マラリア既往多数
【現病歴】２ヶ月間母国に滞在していた。滞在中に蚊に刺されるエピソードがあった。帰国６日後より熱感、倦怠感が出現し、帰国 13 日後に当センターに来所した。熱、頭痛、食欲不振、咳、疲れやすい、よく眠れないことが気になるとの訴えがあり。自身でマラリアかもしれないと思っていた。
【現症】坐位になれず横になっている。体温：37.6℃。　胸部：心雑音、肺副雑音なし
【経過】当センター来所日に新型コロナウイルス抗原検査陰性を確認し、マラリア検査可能な医療機関に紹介し、同日受診した。紹介先に受診時の体温は 39.4℃に上昇していた。マラリア抗原簡易キット検査では熱帯熱マラリアが陽性であった。マラリア治療薬のアトバコン・プログアニル塩酸塩の３日間内服が開始された。血液塗抹標本でマラリア原虫確認され、熱帯熱マラリア感染の診断が確定した。マラリア寄生率は 0.252％であった。治療開始４日後解熱し、マラリア寄生率０％となった。
【考察】マラリアの蔓延国から帰国した学生、留学生の発熱にはマラリアを念頭に問診、診察しなければならないと改めて考えさせられる一例であった。マラリアは、原虫をもった蚊（ハマダラカ属）に刺されることで感染する。世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しており、2022 年 12 月に公表された WHO の最新の世界マラリア報告によると、2021 年の１年間に約２億 4700 万人が感染し、推計 61 万 9,000 人が死亡している。日本においては、新型コロナウイルス感染症の行動制限の影響で流行地への渡航制限などもあり、2021 年は輸入感染症としては約 30 症例が届け出られた。しかしコロナ禍以前は、年間 50～100 症例が輸入感染症として届け出られていた。今後は、海外渡航者も増え、世界におけるマラリアも増加していることから、渡航時はマラリアに感染しないように注意が必要である。１週間から４週間ほどの潜伏期間をおいて、高熱期と無熱期を繰り返す特徴的な発熱、寒気、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状が出る。ヒトのマラリアには５種類（熱帯熱マラリア、三日熱マラリア、四日熱マラリア、卵形マラリア、二日熱マラリア（サルマラリア）がある。その中でも、熱帯熱マラリアは発症から 24 時間以内に治療しないと重症化し、しばしば死に至り、脳症、腎症、肺水腫、出血傾向、重症貧血など、さまざまな合併症がみられる [1)]。

診断は、①血液検体で顕微鏡下での末梢血塗抹標本検査でのマラリア原虫の証明、②核酸増幅法による病原体の遺伝子の検出（ＰＣＲ法・ＬＡＭＰ法など）、③迅速診断法（抗原検出キット EDTA 全血中のイムノクロマトアッセイ）がある。マラリアは四類感染症であり、診断後は最寄りの保健所に直ちに届出の必要がある [1-3)]。

治療は、重症には、経静脈的キニン。非重症例には、アルテメテル・ルメファリントン配合錠、アトバコン・プログアニル配合錠等を用いる [2-3)]。

【結語】帰国後に発熱、倦怠感を主訴に来所し、熱帯熱マラリアが判明し、治療で改善した留学生の一例を経験した。マラリアの蔓延国から帰国した学生、留学生の発熱にはマラリアを念頭に問診、診察しなければならないと改めて考えさせられた。コロナ禍後は輸入感染症が増加する可能性があり、マラリアを疑った場合は速やかな治療が必要であるため、診断、治療が可能な施設への迅速な受診手配が必要である。

＜引用文献＞

1）厚労省 HP　FORTH　https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/useful_malaria.html

2）齋藤真：マラリア．　診断と治療 111 (Suppl): 288-292, 2023.

3）狩野繁之：我が国のマラリア．モダンメディア 57（11）：299-308, 2011.